

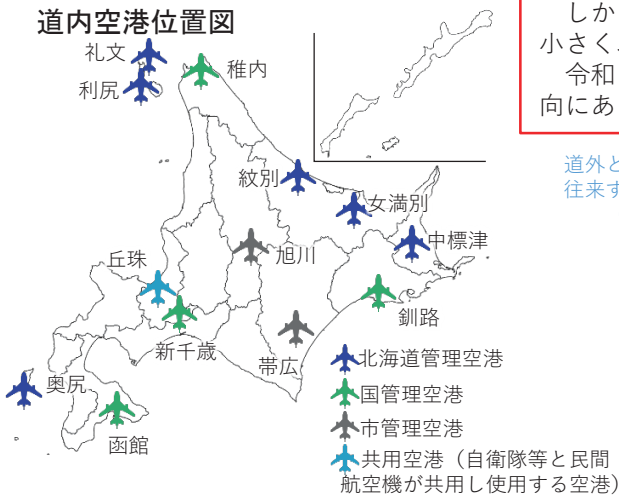
## 4. 空港事業、漁港事業

※建設管理部で事業を実施

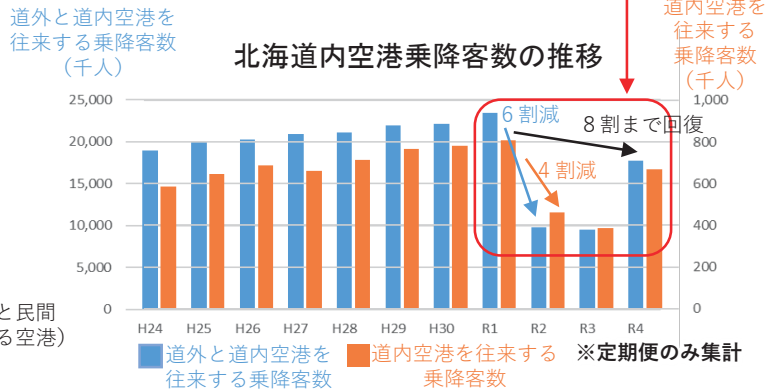
### (1) 空港事業（総合政策部所管）

#### ① 北海道の空港と航空需要

広域分散型の地域構造である北海道において、空港は、本州との往来はもとより、道内の移動においても重要な交通手段の一端を担っています。



空港の乗降客数はコロナ禍により激減しました。しかし、道外との往来に比べ、道内を往来する乗降客の減少幅は小さく、これは航空路線が道民の生活に根付いているといえます。令和4年の空港の乗降客数は、行動制限の緩和とともに、回復傾向にあります。



【出典：航空輸送統計調査（e-Stat）】

#### ② 空港の維持管理

北海道内にある13空港のうち、北海道では6空港を管理しています。安全かつ円滑に航空機が運航できるよう、空港では様々な業務を行っています。

##### ■ 空港管理業務

マーシャリング（航空機の誘導）



航空会社以外の飛行機等は空港管理事務所の職員がマーシャリングをします

航空灯火の操作



航空機の離着陸の安全に直結する航空灯火の操作は常に緊張しています

消火救難訓練



除雪車を事故機に見立て、消火救難訓練を定期的実施しています

##### ■ 空港維持業務

滑走路補修



舗装ひび割れを計測し、補修を行います

除雪



空港の除雪は、スノーパーと呼ばれる空港ならではの除雪車も使います

航空灯火の点検



空港管理事務所には暗室があり、航空灯火の光度、均斉度などを点検し、劣化などを確認しています

### ③空港の整備

滑走路、誘導路、エプロンなど空港の基本的な施設及び航空灯火などの建設、改修を行い、ハード面から空港の安全を支えています。

#### ■滑走路、誘導路、エプロンの改良

滑走路改良



舗装にボーリングを行い、サンプリングするとアスファルトが粒状化し、強度が失われつつありました



エプロン改良



調査・検討

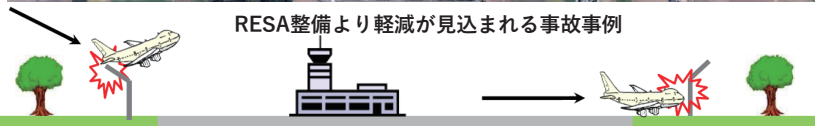


対策



#### ■滑走路端安全区域の拡張整備

航空法施行規則改正により滑走路端安全区域の大きさが規定されたため、必要な区域を確保するための拡張整備を進めており、令和4年度末までに女満別空港と紋別空港の整備が完了しました。残りの空港についても、引き続き整備を進めていきます。



**アンダーシュート**  
滑走路の手前で着陸する事故  
障害物に衝突すると大惨事になる可能性がある

**オーバーラン**  
滑走路を走り越す事故  
障害物に衝突すると大惨事になる可能性がある

【出典：国土交通省HP】

オーバーラン事故



【出典：国土交通省HP】

#### ■航空灯火のLED化

空港には、航空機の運航に必要な照明が設置されており、これらを航空灯火と呼びます。大きさ、色、光度が多種多様であり、LED化が進んでいませんでしたが、製品開発が進んだことから、2030年までにLED導入率100%を目指して更新事業を展開しています。

航空灯火のLED化は、電力使用量が大幅に削減となり、ゼロカーボン北海道に寄与する事業です。



航空灯火LED化による電力使用量

